

第1回子ども・子育て会議 会議録（要点筆記）

開催日時	令和2年7月27日（月）午後2時～3時40分
開催場所	南砺市役所福野庁舎 2階201会議室
出席委員	・三谷 直樹 会長 ・宇野 雪江 副会長 ・石黒 公一 委員 ・磯辺 文雄 委員 ・今井 幸代 委員 ・上坂 紀子 委員 ・大河原 晴子 委員 ・唐嶋 田鶴子 委員 ・北川 英美 委員 ・北清 俊一 委員 ・斉藤 優華 委員 ・定司 博子 委員 ・竹中 友佳子 委員 ・永井 節子 委員 ・中川 加夜子委員 ・野原 浩昭 委員 ・鉢舘 圭伸 委員 ・前田 啓子 委員 ・山田 政寛 委員（19名）
欠席委員	なし（0名）
事務局	・松本 謙一（教育長） ・村上 紀道（教育部長） ・河原 洋子（福光保健センター所長） ・溝口早苗（こども課長） ・吉岡 亘（こども課） ・荒井 昌宏（こども課） ・山田真由美（こども課） ・道海 沙妃菜（こども課） ・江川 晃司（こども課）
傍聴人数	0名

1. 開会

2. あいさつ

教育長 日頃より、南砺市の子ども・子育てにご尽力いただきありがとうございます。

第1期なんとっ子すくすくプランを策定して5年間が経過し、第2期計画を策定した。この計画のさまざまな施策により切れ目のない支援を行っていききたい。また、本日の会議では、この計画がさらに充実したものになるように、委員の皆さんから忌憚のないご意見をいただき、少しでも実行していききたい。

3. 会長・副会長の選出

事務局 「南砺市子ども・子育て会議条例」第4条では、会長及び副会長は、「委員の互選により定めらる」となっているが、いかが取り計らえばよいか。

A委員 事務局案があれば提案してほしい。

事務局 事務局案として、会長に南砺市地域づくり協議会連合会から推薦をいただいた三谷 直樹 委員、副会長に南砺市民生委員児童委員協議会から推薦をいただいた宇野 雪江 委員にお願いしたいと思うが、賛成の方は拍手をお願いしたい。

全委員 拍手

事務局 全委員の拍手により、会長に三谷 直樹 委員、副会長に宇野 雪江 委員に決定する。

会長 引き続き、会長を務めることになった三谷です。平成31年度にアンケートを実施し、2年間かけてこの計画を策定した。そのときは、コロナのことは念頭になかった。委員の皆さんの忌憚のない発言をしていただき、コロナを乗り越えて使いやすい計画になったと思ってもらえるようにご協力をよろしくお願ひしたい。

事務局 委員の委嘱、委員の紹介、資料の確認、会議の公開等について説明。

4. 報告事項

(1) 令和2年度の利用定員と認可定員について(資料1)

(2) 令和元年度教育・保育、地域子ども・子育て支援事業の実績について(資料2)

(3) 令和元年度次世代育成支援施策展開の進捗状況について(資料3)

事務局から資料により説明

〈主な質疑、意見〉

副会長 全体的に子どもの数が減少しているのに、認定こども園の児童数が増加しているのはどういうことか。

事務局 保護者が就労等していなくても入園できる1号部分(幼稚園部分)があることが人気のある要因のひとつで、児童数が増加している。

B委員 資料3で、評価D(停滞している事業)とはどういう状態か。

事務局 しくみとしてはあるが、活用している人がいない状態である。シルバー人材センターについては、ファミリー・サポート・センター等で足りているため、ニーズがなかった。また、商店街の空き店舗については、子育て支援に関する事業者がいなかった。

会長 保育園内のコロナ対応策はどうか。保育士の研修は行っているか。

事務局 保育園・認定こども園は、園内の3密は避けられない場所であるが、換気を十分に行ったり、外から園内に持ち込まないように、玄関より中に外部の方が入らないように努めている。また、研修については、県の研修についてはほぼ延期になっていたが、7月から再開されている。

C委員 基本目標4で、最近は無表情の子や、返事のできない子が多い。ネットワークを上手く活用して子どもの成長を助けていきたいと考えている。

D委員 子どもの卒園式や入園式を開催してもらい、ありがたいと思っている。コロナで孤育ちが進

んでいるので、今後5年間で世の中が変わると思っている。地域の中での子育てについて、国を巻き込んだ指針のようなものを示してほしい。

事務局 計画の基本目標3にあるように、地域・企業を巻き込んで、社会全体で子どもを支えていくことが重要であると考えている。コロナで社会情勢が変化していく中で、地域・企業のそれぞれの特色を生かした協力をいただくことを重点にしていく。

E委員 計画P27の基本目標V(2)子ども等の安全の確保ではA評価が2つあるのに、資料3では、A評価が1つになってB評価が増えているのはどういうことか。

事務局 防犯教室の開催回数の目標値が10回となっており、平成30年度は10回開催したため、A評価だったが、令和元年度は9回の開催となり、目標を達成できなかったため、B評価となった。

5. 協議事項

第2期南砺市子ども・子育て支援事業計画「計画書」・「概要版」について

(1) 施策の体系・施策の展開について（「計画書」第3章、第4章）

事務局から「計画書」及び「概要版」により説明

〈主な質疑、意見〉

F委員 計画の基本理念に、「子どもたちの明るい未来を築き 子育ての喜びや夢を分かち合う まちづくり」とあるが、子どもが夢と希望を持つためには、親が仕事に生きがいを持つことが重要ではないか。親に対する学びの場を充実させてほしい。

また、0歳児や1歳児の子どもの保育園受け入れや、病児保育等の保育サービスを充実させることは、本当に子どものためになるのか。子どもは親といっしょにいたいのではないか。

事務局 親学びについては、計画にもあるとおり、こども課・教育総務課・生涯学習スポーツ課や、市PTA等といっしょに考えて取り組んでいく。子どももいっしょに楽しめるような親の学びの場を提供していきたい。

また、延長・休日・病児保育等の保育サービスを充実させることが、子どもの育ちにとって本当に良いことかという懸念はある。保護者への就労支援、親学び、子どもとのかかわりを考えながら保護者とともに子育て支援ができるように考えていきたい。

(2) 子ども・子育て支援の事業展開について（「計画書」第5章）

事務局から資料により説明

〈主な質疑、意見〉

G委員 コロナに感染した場合の保育園の対応はどうなっているか。

事務局 保護者のみなさまにご案内しているとおり、園内で職員または児童が感染した場合は、休園となる。また、濃厚接触者が発生した場合等でも、マニュアルに基づいて対応していく。保育園での対応については、変更があれば随時お知らせしていく。

6. その他

事務局からスケジュール等について説明

〈主な質疑、意見〉

質疑なし

7. 閉会

副会長 メンバーの半分以上が変わり、学校現場や子どものことなどいろいろな良い意見が聞けて充実した時間だった。今後も南砺市の教育や子育てについて、共通理解を図って考えていきたい。

午後3時40分 終了